



富山薬窓会首都圏支部

目 次

支部長ごあいさつ	(60、S48年卒) 中西 憲幸	1
総会での話題提供①「医師主導治験に関する話題提供」	(76、H元年卒) 小林 史明	2
総会での話題提供②「生薬学の四方山話」	(修士24回、S63年卒) 山路 誠一	2
ひとつの区切り	(69、S57年卒) 竹内 誠	2
松任から86駅目は鳥取	(76、H元年卒) 畠山 伸二	3
ワーママの三種の神器、日本昔話は怖い？わーにのお姉さん	(82、H7年卒) 東 美恵	4
SNSの罪と罰	(89、H14年卒) 伏木 洋司	5
ご挨拶と現況報告	(105、H30年卒) 野上 暁生	5
AIM HIGH	(105、H30年卒) 林 滉一朗	6
社会人1年目を終えて	(105、H30年卒) 丸茂 勇輝	7
薬窓会の皆様初めまして、よろしくお願ひします。	(105、H30年卒) 宮下 正也	8
東京に来て、恋しいと感じていること	(105、H30年卒) 若林ののか	8
ゴルフクラブ便り	(55、S43年卒) 石橋 嘉夫	9
平成30年度首都圏支部活動報告・支部役員		12
平成30年度会計報告、令和元年度予算(案)		13
平成30年度 支部年会費納入者一覧		14
編集後記		17
令和元年度定期総会開催案内及び会場交通案内		18
平成30年度首都圏支部総会集合写真		19



## 平成という時代

富山薬窓会首都圏支部長（㉔、S48年卒） 中 西 憲 幸

平成は故小渕首相の右隣に掲げられた力強い文字が印象的である。平成は史記や書経から引用され「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味である。

しかし禍の多い時代であった。雲仙普賢岳火砕流、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨など枚挙にいとまがない。一方ノーベル賞は昭和の3倍の20名が受賞され、化学賞、医学生理学賞には白川英樹氏、野依良治氏、田中耕一氏、下村脩氏、鈴木章氏、根岸英一氏、山中伸弥氏、大村智氏、大隅良典氏、本庶佑氏の10名と記憶に残っている。

医療の分野ではゴールドプランが策定され、介護サービスの整備が本格化し、「介護の社会化」を進めるために、介護保険制度が創設された。

国民皆保険制度の開始以降、半世紀あまり経過した。前半の25年は、病院数・病床数の「量的拡大」の時代であった。後半の25年が「質的向上」の時代で、全体の数はむしろ減少した。医療法の改正で、特定機能病院と療養型病床群に分化した。その後は医療（病床）の機能分化が進められている。

薬学部では6年制がスタートした。6年制課程においては約半年間の薬局・病院実務実習が必修化された。薬学部の標準修業年限が6年に延長されることとなった背景には、先進国の中で遅れている薬剤師の教育を充実させ医療の質の向上をはかるためである。

医薬分業は飛躍的に進展し73%に達成した。それに伴い、分業の受け皿である保険調剤薬局も急増し、コンビニの総数を凌駕している。分業前には進んでいなかったジェネリックの普及は68.8%まで進展した。ジェネリックの拡大には保険調剤薬局が貢献している。

私個人にとって平成は、39歳から68歳までの働き盛りの30年間であった。ジェネリック会社の創業がもっともインパクトのある仕事だった。私の勤務した期間には花は咲かなかったが、その後には日本を代表するジェネリック会社のひとつとなった。この会社は平成で幕を閉じ、令和では日医工の子会社として生まれ変わる。富山との不思議な絆を感じる。この間に定年を迎え、請われるままに幾つかの仕事をして、今日に至っている。薬剤師免許も1年間使うことができた。これからの令和は元気な自由人として、多少社会と関わりながら、過ごしていきたい。

## 話題提供①

### 医師主導治験に関する 話題提供

(㊟、H元年卒) 小林 史 明

大学卒業後、医薬大病院薬剤部に勤務した後、当時の医薬品医療機器審査センターに向向する機会を得ました。新薬の承認審査、治験相談等に6年半従事した後、縁あって日本医師会治験促進センターの立ち上げに加わりました。治験促進センターは、ちょうど制度化されたばかりの医師主導治験を広める役割があり、当時まだ誰もやったことのない医師主導治験を医師とともに製薬企業の方の協力も得ながら進め、最初の4年間で6品目の承認を得ました。その後、(昨年の首都圏支部総会で話題提供に登場した大学同期の折戸哲也氏の影響を受けたかどうかはわかりませんが)一念発起し、主に医師主導治験・臨床研究を支援する会社を創業し、現在10期目になります。

さて、医師主導治験という言葉をお聞きになったことのある人も多いと思いますが、医師主導治験は2003年の薬事法改正で制度化されたもので、簡単に言うと医師が依頼者の役割を担う治験のことです。

始めた当初、GCPや運用を直したいところがありました。幸いなことに公的な会議等を通じて厚労省と協議でき、何度かの改正を経て、今はずいぶんと実態に合うGCP、運用になっています。(でも、まだ改善したいことはあります。)

成果に関して、最近では、医師主導治験の成績に基づく承認品目が年に数件出ている状況になっています。当初は既承認品目の適応拡大で1試験実施して申請、承認というものが多かったのですが、最近ではアカデミアシーズで第I相試験から開始されているものも

あるほか、最初の治験から計3試験実施し、承認まで10年かかったものもあります。

総会では、医師主導治験の経緯と現状、実績を中心に、皆さまに医師主導治験をより理解してもらえるお話しをしたいと考えています。  
(株式会社CTD)

## 話題提供②

### 生薬学の四方山話

(修士24回、S63年卒) 山路 誠 一

生薬は医薬品でありながら品質の良否が判りにくい商品ですが、生鮮食料品と同様、供給元の天候や土壌、人手、風評等の事情によってバイヤーも驚くほどの価格の乱高下をきたすことがあります。日本で消費される生薬の最大供給元である中国は、ここ10数年の間に産業構造の変革を遂げましたが、一方で生薬の供給に大きな影響も与えるに至っています。そのほか、国際法や中国以外の各国における法の制約によっても入手は容易でなくなり供給量の低下をきたしているほか、中医学・漢方の世界的普及と各国における需要の増加も、需給逼迫に大きく影響しています。

演者は、中国市場である広東省広州市と安徽省亳州市の市場品を実際に見聞して知り得た事情から、上記に関連した生薬取引の現状とその変化について取り上げ、今後の日本における生薬供給に対する問題や、中国産生薬の利用への注意点などについて、実例を示しながらお話いたします。(日本薬科大学)

### ひとつの区切り

(㊟、S57年卒) 竹内 誠

1984年に大学院を卒業と同時に富山県を離れ、東京の山之内製薬に入社した。中央研究

所化学研究部に配属され、この世に存在しない新薬を創製し世界の人々の健康に貢献したいとの一心で、多くの社員と共に時間を惜しむ事無く創薬研究に没頭した。その傍ら多くの社内外の方々と懇親を深め、将来の夢について熱く語ることも多かった。素晴らしい上司、同僚、後輩にも恵まれ、幸いにも運も味方し3つの新薬の上市に関わる事が出来た。また、米国留学、藤沢薬品工業との合併（アステラス製薬誕生）など、貴重な経験も積み、その後、上席執行役員渉外部長として業界活動の矢面に立ち、ロビー活動、各省庁トップとの意見交換など、研究者としては想像すら出来ない体験をし、昨年6月にアステラス製薬を無事に卒業した。ここずっと忘れていた安堵感に浸りつつ、暫くは人生のオーバーホールを兼ねて好きな旅行にでも時間を費やそうかと考えていた矢先に、ライフサイエンス系ベンチャーに特化して出資しているベンチャーキャピタル（VC）から誘いがあった。国内の創薬を取巻く環境はここ10年で大きく変わってきている。真の意味での革新的新薬が切に望まれるようになり、新薬の研究開発費用も年々高騰する中、一つに製薬企業だけで新薬を継続的に上市することはかなり厳しい状況である。米国ではかなり前から創薬の一翼をバイオベンチャー（BV）が担っていることをお分かりの方も多いと思うが、国内に於いても経産省、厚労省などが近年BV育成の重要性を説き、その支援策を積極的に打出している。また、金融系VCや独立系VCの数も投資額も近年増加傾向にあり、今後は益々アカデミア発のBVでの創薬研究が加速すると思われる。残念ながら国内の企業やVCからのBVへの投資金額は、米国や中国に比較しまだまだ少ないのが現状であるが、この流れに乗りこれまで培って来た知見を基に、BVの育成に微力ながらも貢献したいと思っている。また東大薬学部での非常勤講師や産業技術総合研究所

の自己評価検証委員なども継続しつつ、最近新たに日本医療研究開発機構のプログラムオフィサーにも就任した。健康に留意しつつ、もう少しだけ社会のために頑張ってみようと思う。

## 松任から86駅目は鳥取

（㊦、H元年卒） 畠山伸二

「松任10:39発（17駅）福井（11駅）敦賀（23駅）東舞鶴（5駅）綾部（3駅）福知山（10駅）豊岡（10駅）浜坂（7駅）鳥取20:13着」

2年ほど前になりますが50歳のリフレッシュ休暇で年末に北陸へ帰省しました。折角だから行ったことが無い場所へ旅に出ようとJRの普通列車に乗り込んだ初日の行程です。冬の日本海側なので、知人からは物好きだと言われましたが、好天に恵まれた穏やかな日より。わくわくした電車の旅を満喫しました。2日目：待望の鳥取砂丘。朝早くから路線バスで向かい、2～3時間ほど砂丘を歩き廻りました。もちろん、お昼は鳥取地ビール。引き続き松江へ移動し、松江城を観光してから近くの割烹でカニ。冬の日本海側ならではの特典ですね！

3日目：松江と出雲大社をつなぐ一畑電車。宍道湖の湖畔に沿って進みます。この日だけは朝から小雨が降り、雲間からの日差しが湖面を照らす神秘的な風景です。参拝して御朱印帳デビューを果たした後は、出雲割子そばと地酒の熱燗。

最終日はゲゲゲの境港に移動。水木しげるロードを歩き、記念館では小さい頃に読んだ墓場の方を読み耽っていました。境港市場まで辿り着いたので、迷わず海鮮丼とコップ酒。さて、たつぷりと楽しんだことだし、そろそろ帰らなければ。乗り込んだのは飛行機。あっという間に羽田へ戻りました。

全く持って得難い日々で、今も仕事の合間に思い出しています。そういえば2日目の朝に路線バスで砂丘への行き方を尋ねてきた香港のご夫妻、出雲大社でも境港でもお会いして、不思議なご縁を感じました。ここ7年ぐらい、アジアの薬事申請の仕事をしており、アジア各国へ出張する機会もあります。またどこかでばったり出会わないかなと楽しみにしています。



## ワーママの三種の神器、 日本昔話は怖い？ わーにのお姉さん

(◎、H7年卒) 東 美 恵

製薬会社エーザイで費用対効果研究を担当しています。医薬品・医療機器の費用対効果の評価が平成31年4月から制度として導入されたのをご存知ですか？実はこの導入は、かれこれ10年近く厚労省（中医協）で議論され、ようやく始まります。新薬の価格が算定された後に、企業が費用対効果の分析を提出し、その度合いによっては薬価の加算部分がカットされるというもので、市場規模の大きい医薬品が対象です。日本でまたこんな議論は微塵もなく、イギリスの薬剤師の役割を調べていた時に私はこのサブジェクトに出会い、そのままイギリスで修士に、帰国後エーザイの勤務傍ら大学院で勉強しました。ドクター2

年目で結婚・出産し、家族生活の扉を開けてしまったと同時にワーママ（ワーキングマザー）生活と大学院生活の3足のわらじ生活がスタートしました。生まれたエミリ（本名は漢字）はもうすぐ6歳、その後生まれたえりか（同）も3歳になりました。ワーママ生活は、技術の進歩と多様化を受け入れ始めた時代がサポートしてくれています。1時間時短を使って16時過ぎ退社、17時半には保育園にお迎えに行き、帰宅して21時に寝るまでの3時間余りでごはんを作り、食べさせ、お風呂に入れ、着替え・歯磨きし、絵本を読み寝る。帰宅後に放り込んだ洗濯物はお風呂の後に浴室乾燥で干しっぱなし、食事の片づけは食洗器にこれまた放り込み、その合間にスマホで会社メールを確認し、食べこぼしで汚れた床は水拭きをしてくれるルンバにお願いし、子供を寝かしながら自分も寝かされる毎日です。超コンサバな内資系企業でも、週1回自宅勤務が取れるので、習い事などにも行かせられます。おませなエミリさん、プリンセスの絵本ばかり読むので、たまには日本のお話をと日本昔話を読みました。しかし、花咲か爺さんの犬は隣の爺さんになぶり殺され、カチカチ山のおばあさんは悪い狸に床下に埋められ、かぐや姫に無理難題を言われた若者は気が狂って死んでしまう。怖くて寝れない、というクレームのためしばらくお休みです。えりかさんはワニの手遊びを披露してくれま

す。これまた、時代ですね～。

わーにのおねえさん（〃）

お口を開けて ぱっ

おひげをじょりじょり（〃）

泳いでいます

わーにのおとうさん（〃）

お口を開けて ぱっ

お化粧ペタペタ（〃）

泳いでいます

## SNSの罪と罰

(㊟、H14年卒) 伏木 洋 司

ソーシャル・ネットワーク・サービス (social networking service, SNS) をみなさんはお使いでしょうか? Line、FacebookやInstagram、仕事系SNSのLinkedInも随分と浸透してきたSNSとなってきました (有名なTwitterはSNSではないという分類だそうです)。一方で、SNSを使ったいわゆる「バイトテロ」といった不健全な行為を世界中へ発信してしまい社会的信用を失ったり、企業へ経済的損失を与え損害賠償対象となるといったニュースも見聞きしたりし、「SNSなんてするもんじゃない」と思われている方も多くいらっしゃると思います。

そんな中、わたしはSNSを積極的に活用して、まずは旧友、特に医薬大での同級生・先輩後輩たちとのつながりを再構築することのメリットを強く感じている一人です。89回生のわたしは医薬大を卒業して15年以上が経過して、誰がどこで何をしているのかわからなくなっていることも多々ありました。SNSを使っていると、最初は狭い世界でのやりとりから始まるのですが、そのうちSNS側の情報解析により「もしかしてお友達?」として、関係のありそうなユーザーの提案をしてきてくれることがあります(ここに現在のSNSの技術と情報価値がつまっている)。そうすることによって、連絡先を知らなかった旧友と再びつながることができ、おまけに近況なんかを写真付きで見ることができます。そのおかげで、昨年サンディエゴに出張した際には現地の大学へ留学している同級生と連絡を取ることができ、卒業以来の再会を果たすことができました。彼は卒業したままの見た目でしたが、わたしは15年の月日を否応なく感じる見た目になってしまったことは現実の残酷さを実感

する出来事でもありましたが。

ただ、やはり気になるのはプライバシーと問題が起きることへのリスクをどう管理できるのか。わたしの場合は全てのSNS情報は全世界へ発信することはやめて、知り合いの中だけの枠に留める設定をしているわけですが、その設定もふとした拍子に解除されたり運営側の不具合・悪意あるサイバー攻撃により情報が流出したりする恐れもあります。そこで一番の予防線は、自分自身での線引き基準を作っておくことかと思います。わたしの場合は投稿する基準は「年賀状でも知らせたいこと」が一つの判断基準としています。自分・家族の近況やうれしいイベント、悲しかったこともいいと思います。その時々で感じたことで公にしてもいいことを判断できること、それがネットリテラシーの基本だと思いません。冒頭のバイトテロのケースは、そもそもの行動に問題がありかつネットリテラシーの欠如により問題をより大きくしてしまう「炎上」ケースの典型例です。

イマドキの交友関係の構築・維持の形ですが、使い方を間違えなければ本当に便利な時代になりました。親に孫の顔を見せることも簡単になりました。これからさらに情報社会は複雑化していくと思いますが、判断基準は人間自身がしっかりもって、道具を上手に使うって便利さを有意義に享受していけるようになっていきたいですね。

## ご挨拶と現況報告

(㊟、H30年卒) 野上 暁 生

皆様初めまして。第105回卒業生の野上暁生と申します。私は富山大学薬学部薬学科 (6年制)、大学院博士課程 (4年制) を経て製薬企業に研究職として就職しました。薬学科は薬剤師国家試験の受験資格が得られるコース

で、多くの人が大学院への進学はせず、病院や薬局等に就職します。私も大学に入学した当初は研究職という道は考えておらず、薬剤師として医療に携わりたいと考えていました。しかし3年次に研究室に配属されると研究の面白さに熱中し、研究を仕事としたい気持ちが生れました。また、学部5年次には薬剤師実務実習で実際の医療現場を経験しました。現場で働く薬剤師や医師、看護師、末期がんの患者さんなどともお話をさせていただき機会があり、既存の薬では足りていない部分があるのではないかと感じました。こうした経験を通して、薬を「創る」側として社会貢献したいと考えるようになり、この職業を選択しました。

現在私は、薬の候補を見出すために様々な化合物を合成する仕事に従事しています。朝遅く夜も遅く、そして長時間研究という大学生活から、17時半に仕事が終わる社会人生活に変わりました。時間内に業務を終わらせるための段取りの付け方に戸惑うこともありますが、業務内容にはとてもやりがいを感じており、楽しく社会人生活を送れています。また、仕事以外の時間が増えたことから、会社の陸上部に所属し、最近初めてハーフマラソンに挑戦しました。21kmを走ったのは当日が初めてでしたが、何とか無事完走することができました。もう少ししっかりと練習して、次はフルマラソンにもチャレンジしたいと思います。

最後に、首都圏遠久朵で私のお話をさせていただき機会をいただきましたことに感謝申し上げます。薬窓会首都圏支部の益々のご発展をお祈りいたします。

## AIM HIGH

(㊦、H30年卒) 林 滉一朗

2018年3月に博士後期課程を修了した林滉一朗です。学生時代は井上将彦先生のご指導の下、有機化学合成を軸とした機能性材料の開発を行っておりました。4月からは運良く、都内に本社を置く日用品メーカーの研究職に就くことができました。4月から7月までは本社にて全職種合同の研修を受け、高卒〜修士卒100名強の若い同期の中に紛れて社会人の基礎を学んでまいりました(皆、ノリが若かったです)。研修の最後には、運命の配属発表があり、今でもその日のことを鮮明に覚えております。弊社の研究拠点は、化学系の研究を行っている平井研究所(東京)と、生物系の研究を行っている小田原研究所(神奈川)の二箇所、化学のバックグラウンドを持つ私は当然、平井研究所に配属されると思っておりました。しかし蓋を開けてみると、配属先はなんと小田原研究所。ほぼ生物系の実験をしたことがなく、知識が乏しい私にとっては驚きでした。配属理由を人事担当に聞いてみたところ、「きみはウインドサーフィンやでしょ?小田原は海近いよ!」とのこと。(学生時代、ウインドサーフィン部だったことは事実です。)さすがに配属理由については冗談でしょうが、このようなビックリ人事がありながらも7月からは、富山を思い起こさせるようなとても豊かな自然に囲まれ仕事しております。もともと、新たな分野に挑戦したい!という思いはあったので、難しさや戸惑いはもちろんありますが、何とか必死に喰らいついている状況です。専門性を拡大することとは、自分の理解できる世界が広がることでもあると思っております。うまく自分の味を出しながら、貪欲に新しい分野に挑戦していきます!

「今日を磨けば、明日が輝く」をモットーに、一日一日を大切にして研鑽を積み、第二第三の専門性を築いていきたいと思えます。どうぞ皆様、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。歯は大切に。

## 社会人1年目を終えて

(㊦、H30年卒) 丸 茂 勇 輝

皆様、初めまして。第105回卒生の丸茂勇輝と申します。製剤設計学講座で大貫義則教授のご指導のもとで崩壊剤の錠剤特性に対する影響の研究等を行っておりました。卒業後は、医薬品及び医療機器の審査、安全対策、救済業務を担う機構にて、医薬品の治験関連業務に携わっております。

さて、この度は本誌へ寄稿の機会をいただき誠にありがとうございます。わたくしからは、社会人1年目を経て学んだことについて仕事及び生活面より、書かせていただきたく存じます。

まず仕事面では、自分の業務が、外部・内部問わず大きく影響しそれが責任として跳ね返ってくることです。業務上、製薬企業や医療機関等の外部の方より問合せを受ける機会が多く、回答次第では相談者に追加で作業をしていただくこともあるためです。相談者の行動を促すには納得してもらう必要があるため、根拠を示すだけでなく伝え方（温度感や語尾等）も考えて説明するように心がけています。また、数年前に別の担当者が回答した事例を基に、改めて問合せを受けることもあり、その際には当時の経緯を確認した上で対応する必要があるためです。担当案件をいつでも説明できるのは当然のこと、他の職員に理解できる形で記しておくことが、責任の一部だと考え、問合せの経緯及び対応の根拠を残すようにしています。

続いて生活面では、限られた時間でいかに日々を楽しく過ごすかが重要であることです。平日で忙しい日だと、家と会社の往復だけになりやすく、さらに業務はデスクワークでやり取りも基本的にメールのため、運動不足や会話不足に陥りやすいからです。メリハリを付け、同期や先輩との飲み会を率先して企画したり、休日には会社の硬式テニス同好会や外部のバトミントン同好会に参加しています。特に、硬式テニスは子供の頃からずっと続けているため、会社でもテニスができることを嬉しく思っております。昨年11月には杉並区のテニス大会に出場し、シングルスB級部門で優勝することができました。テニスや飲み会で仲良くなった人とは、業務で関わる時に気軽に相談できますし、外部からは他業界の話の聞いたり、異なる考え方をすることもできるため、仕事面にもプラスに働いていると思えます。

両方の面に通じますが、人は人との縁で生かされていることを再認識しました。自身の給料で生活できるようになり、両親には様々な面や金銭面でも育ててもらっていたことを痛感しましたし、今こうして仕事ができているのは、先生や先輩方のご教授があつたものだと思っております。いただいてきたものを今後、世の中に還元していくことが、社会人としてすべきことだと考えております。

最後に、首都圏遠久朵でわたくしのお話をさせていただく機会をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。三金会の皆様の発展と薬総会首都圏関東支部の益々のご発展をお祈りいたします。



## 薬窓会の皆様 初めまして、 よろしくお願ひします。

(㊦、H30年卒) 宮下正也

平成30年に富山大学を卒業いたしました、宮下正也と申します。大学の研究室は比較的新しい薬物治療学研究室というところで、新田教授、宮本准教授、宇野助教の指導の元、脳機能と精神疾患の関係性の研究を行っていました。また、4年生の時には、元々4年制の創薬科学科から6年制の薬学科へと転学科し薬剤師の道へと進むことになりましたが、現在では大学での経験とは全く関係のない、そして薬剤師免許も関係のない国家公務員として厚生労働省 監視指導・麻薬対策課にて医薬品流通の監視指導を行っております。厚生労働省では医薬品の専門知識を持った薬事技官という立場で仕事をこなしておりますが、行政の仕事は法律に基づいた仕事ですので大学で6年間培ってきた知識はほとんど用いず、5年生の時に過去問で凌いだ記憶しかない医薬品医療機器等法（現薬機法、旧薬事法）が記載されている分厚い薬事行政六法を持ちながら日々の業務を行っております。

私の所属する部署は様々な部署との連携や他省庁との連携が不可欠ともあって多忙ですがやり甲斐のある日々を送っております。しかしながら、私の所属する部署はゴリゴリの薬事規制を行っている部署ですので、富山大学OB・OGの皆様（首都圏支部は特に）を平気で敵に回しかねないです。それが今最も恐れていることです。いつか薬窓会に呼ばれなくなった時は何か業務上でまずいことをやらかしたんだなと思うようにします。

私は行政職ということもあり利害関係者との繋がりは色々と制限されておりますが、ペーパーの間はなんの権力も持っておりません

し、薬窓会の皆様とは同じ大学出身という繋がりがありますので、特に恐れることはなくできるだけ積極的に薬窓会（三金会も）に参加し、私の方からお手伝いできることがございましたら喜んでお手伝いさせていただきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

## 東京に来て、 恋しいと感じていること

(㊦、H30年卒) 若林ののか

皆様、はじめまして。私は2018年3月に富山大学大学院を卒業いたしました、105回卒生の若林ののかと申します。学生時代は、消化管生理学研究室の門脇真教授及び林周作助教のご指導のもと、炎症性腸疾患と生薬の関連について研究を行ってまいりました。現在は、都内の某CRO（開発業務受託機関）で、臨床開発業務に従事しております。

さて、“社会人1年目”の私ですが、実は“関東暮らし1年目”でもあります。出身は福井県で、その後は富山県で大学生活を送りました（個人的には、福井よりも富山の方が好きです）。そして、社会人となり、東京暮らしを始めて早1年になります。そんな私が、この1年で“恋しい”と感じたことを2点ご紹介させていただきます。

まず1点目が、北陸のお刺身が恋しい、ということです。もちろん、都内には美味しいお刺身を食することができる飲食店がたくさんございます。しかし、やはり北陸で食べたお刺身が一番美味しく大好きです。特に、富山の寒ブリは本当に美味しかったです。今年こそは、会社の同期とともに寒ブリの旬の時期に富山に行きたいと思っております。

そして2点目が、車が恋しい、ということです。大学2年目から卒業するまでの期間、

毎日車を運転してきました。私の趣味の一つがドライブでもあり、ふと新湊大橋までドライブすることも多々ありました。しかし、東京勤務が決まり、私の愛車を売ることに…。そして、車生活とはかけ離れた生活が始まりました。どこへ行くにも電車、電車、電車…。交通の便が非常にいいとは思いますが、東京に来るまでに電車（新幹線・特急以外）に乗った機会が両手におさまるくらいだった私には、苦痛に感じます。ただ、電車はもう慣れるしかないと割り切っておりますので、気長に徐々に慣れていくことを待とうと思います。では、このドライブ欲の方はどうしようか…、と現在解決策を模索中でございます。

今回は、私生活で恋しいと思っていることをご紹介させていただきました。北陸と東京の暮らしの違いにまだまだ戸惑ってばかりではございますが、私生活を充実させていくとともに、仕事の方面では、偉大な先輩方に負けないよう、日々精進してまいりたいと思います。今後とも何卒宜しくお願い致します。



## ゴルフクラブ便り

平成30年度 第91回、第92回開催報告

平成30年度は4月19日に筑波東急GC、10月2日に泉カントリー倶楽部にて開催しました。いずれも晴天に恵まれ楽しい一日を過ごすことができました。

参加人数が回を増すごとに減少していくことがあります。会を預かる事務局としては今までの伝統を絶やすことなく、葉窓会の絆を一層深めてまいりたいと思っています。

(事務局：㉟、S43年卒 石橋 嘉夫  
㊟、S46年卒 石井 誠司)

### 【第91回大会】

91回葉窓会ゴルフコンペは、4月19日（木）筑波山を眼前に眺める筑波東急カントリークラブを会場に11名の精鋭（？）が集合し、日頃の成果を競いました。2年半前に当クラブでの開催は17名の参加でしたので、今回は少し寂しい会となりました。毎回元気で参加されていた方の中で腰痛症（脊柱管狭窄など）、膝関節痛症で静養されているとの連絡が多くみられました。リハビリを重ね復帰されることを望みます。

当日は20度を超える快晴のもと楽しくプレイすることができました。また久しぶりに富山から参加の48回の川村さんは、今年は雪の為ラウンドできず今回が初めてのプレイとなったようです。優勝は57回の藤村元成さんがBG賞もあわせて初めての受賞になりました。準優勝は47回の小国益男さん、3位も47回の関誠さんでした。

懇親会では兎に角100回記念の大会までは何としても続けようとの声上がり、事務局に対しては皆が集まりやすい会場の選定やスタート時間など提言があり、検討すると約束しました。そして次回10月の例会にお会いすることを誓い解散しました。

### 【第92回大会】

92回大会は、10月2日に千葉県印西市にある泉カントリー倶楽部にて開催しました。昔からの名門コースと言われていたが、プレイ経験者は少なく今回の参加を楽しんだようです。一日前の台風が関東を直撃するとの気象

予報があり参加者を悩ませましたが、当日は台風一過快晴に恵まれ、今回参加された13名の皆さんは大満足されたと思います。

常連の方以外に前回のリベンジと飛行機のフライトに3便を待ち(台風の影響)、富山から46回の川村さんが駆けつけてくださったり、何とか病気を克服された51回の諏訪さん、53回の南さん、56回の金さんが参加してくれました。事務局としてうれしく思いました。また、表彰式の席上、ゴルフの大会に様々参加するが、葉窓会での王令が一番楽しいと言ってくださり、事務局に大いなる激励を頂きました。

優勝は47回の伊勢谷さん、準優勝は58回の石井さん、3位は47回の小国さんでした。そしてBG賞は何と45回の橋浦さんでした。中堅の面々の奮起を期待したく存じます。

次回は4月に開催を予定して、解散しました。



## 近況報告

平成30年首都圏支部総会出欠連絡より

⑥4、S52年卒 鈴木 利之  
元からいる会社で10年程前から知財の仕事に携わり、定年後、今年で再雇用4年目となりました。とりあえず今の仕事を続け、その後のこともボチボチ考える予定です。

⑥4、S21年卒 織井 文貞  
34回の関東人会は皆いなくなってしまった様に思います。せめて存在感でもお知らせ致したく、お便りを出します。どうぞよろしく。

⑥9、S36年卒 高橋 芙美子  
4月に80歳を迎えました。さあ～これから～、と行きたいところ。

⑥4、S32年卒 鈴木 芳子  
獅子会(44回)の集いが2018年5月7日富山市オークスカナルパークホテルでありました。約20名出席。翌日富岩(水上)運河のクルージングを楽しみました。

## 100字通信

⑥7、S35年卒 野田 久正  
現在81歳昨年現役引退し就労目標70歳も超え次の健康寿命目標を大阪万博、リニア竣工に上げながら、抗加齢研究のサムチューン遺伝子活性化、テロメアの延長、抗加齢物質NMN、再生医療等の発展が待ち遠しい。

⑥9、S47年卒 清水 善之  
東京2020オリンピックの埼玉県の都市ボランティアに選ばれました。射撃会場に最寄りの朝霞駅・和光市駅で活動します。(公財)日本骨髄バンクの説明員になりました。多くの方に提供者(ドナー)登録をお願いします。

⑥0、S48年卒 中西 憲幸  
勤務先の壁に「春眠不觉晓 处处闻啼鸟 夜来风雨声 花落知多少」の書が掲示されています。孟浩然(もう こうねん)という中国唐代の詩人の五言絶句で声を出して読んでみたくになります。出世欲がなく、各地を放浪

しながら歌を詠んだ人のようです。

④⑨、S37年卒 土方 久家

WHOでは幼児に低周波電磁波を浴びると疫学的に白血病発症が2倍になると発表しています。

そこで東京都下調布市集権の高圧送電線直下とその25m以内の範囲の住宅街を通産相管轄の電磁波センターから測定器を借りて測定した。上記のセンターには薬剤師として身分証明書を提示し、データ報告を約束した。2018年6～10月 3回借用  
報告：送電線直下0～25mで2mG（ミリガウス）以上の地域とデータを報告いたしました。2mGは東電の危険値、通産省では20mG  
「これはタバコの喫煙と肺がんとの関係でいうと、疫学的には吸わない人との確率は2倍あるのと同じ」と報告いたしました。

④⑩、S32年卒 高木 良造

正月、孫達家族とスキーに志賀高原に行ってきた。1月4日、晴、横手山・渋峠スキー場に行く。長野県と群馬県の境にある標高2,307mの横手山では、思いがけず、樹氷を見ることができ、天気にも恵まれ、北アルプスや富士山を望む事ができた。

④⑪、S46年卒 千田 耕平

昨年、古希を迎えたいぶんぼけてまいりましたが、幸い身体は元気なので精神障害者のリハビリ事業を続けて行くことにしています。仕事の中で、新しい知識を得たり若者と話したり、やはり一番の活力ですね。

旧職員 渡辺 和夫

当年とって84歳になります。肺がん、脳梗塞、骨粗鬆症をやり過ごし、ドッコイ生きています。富山時代は私の夢の思い出です。自分流でしぶとく生きて老いの春 和夫

御盛會を祈ります。

④⑫、S34年卒 川畑 耕祐

平成28年3月に第二の勤務先（スーパーの薬品部）を退職して丸3年が経過しました。毎日が日曜日の生活に最初は戸惑いましたが、今ではすっかり慣れて俳句、川柳の会日本セカンドライフ協会主催の行事に参加するなど、有意義な毎日を過ごしております。

④⑬、S39年卒 古市 泰宏

研究を続け、時には、実験もします。昨週、恩師小橋先生友人の元AE大Hurvitz教授（90歳）が急逝された由。教授は、私にも友人の一人で、高齢でも現役で、特別の親近感がありました。私もあと12年はやります。

④⑭、S36年卒 川上 惇

マスターズスキー競技会では60、70歳代の参加者が多く元気で強い。80歳代になると参加者がぐっと減る。1月の競技会で、その少ない80歳代で銅メダルをもらった。2月には富山スキーマスターズ大会が牛岳温泉スキー場で開催される。いつまでも参加できるようにトレーニングに励みたい。

④⑮、S54年卒 道見 茂樹

今年も家庭菜園から。夏になるとビールに枝豆となりますが、数年前から地元「湯上り娘」という品種が登場し、これがとても香りがよく大のお気に入りです。昨年ホームセンターに行ったらこの豆を発見。栽培しやすいこともあり、昨夏はたっぷり楽しみました。

④⑯、H9年卒 宅和 知文

昨年の遠久菜で寄稿させて頂いたマラソン&ジョギング、継続中です。タイムには拘りませんが、記録が更新できたときは嬉しいですし、大会が近づくと楽しみです。色々なジ

ヨギングコースを開拓中で、春に桜並木のり  
んりんロード（ローカルですみません）を走  
るのが楽しみです。

⑤、S47年卒 井本 直樹  
趣味 趣向 タイミング チャンス 偶然  
必然 運命 連鎖 人柄 相性 職場の長い  
絆 最近、お仲間が急増 その「きっかけ」  
はお酒と囲碁だが、長年の好きと下手の横好  
きがご縁の基 継続は力なり??? 更なる  
連鎖も期待 だが、老人クラブは・・・ 本  
支部の一層の活性化は如何

⑥、S56年卒 笹又 理央  
私は現在、日本医療研究開発機構で厚労省  
／アカデミアの先生方とゲノム医療推進のため  
に基盤整備事業を担当しています。

日本でオーダーメイド医療がさらに発展す  
るよう貢献したいと思います。

## 平成30年度 首都圏支部活動報告

### 1. 定期総会

平成30年度首都圏支部定期総会  
平成30年6月23日（土）AP東京八重洲通

### 2. 幹事会

第1回幹事会：  
平成30年9月7日（金）AP東京八重洲通  
第2回幹事会：  
平成31年2月5日（火）ビジョンセンター東京

3. 平成31年度薬窓会首都圏支部総会案内状送付：  
平成31年2月6日発送

4. 平成30年度薬窓会本部総会・卒業謝恩会：  
平成30年3月23日（金）中西、道見

5. 平成30年度薬窓会近畿支部総会：  
平成30年6月17日（日）中西

### 6. その他

薬多津三金会（毎月第三金曜日開催）  
於：多津よし（東池袋）

五福会 5月16日（水）

於：白山富山会館

11月21日（水）

於：白山富山会館

話題提供：セルフメディケーション  
税制の現状について  
道見

## 総会参加者・年会費納入者 推移

	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
総会 参加者	64名	69	61	72	70
年会費 納入者	282名	292	300	287	284

## 令和元年度 首都圏支部役員

支部長：⑥⑩、S48年卒 中西 憲幸

副支部長：⑤⑧、S46年卒 加藤 健二

⑧④、H9年卒 平岡 良隆

幹事長：⑥⑥、S54年卒 道見 茂樹

副幹事長：⑦③、S61年卒 阿部 弘之

⑦⑦、H2年卒 紺谷 徹

監事：⑥⑨、S47年卒 松本茂外志

## 平成30年度会計報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

I. 収入の部			単位 円
項 目	予 算	実 績	
前年度繰越金(普通預金)	3,987,909	3,987,909	
年会費	400,000	325,570	
総会参加費	500,000	440,000	
普通預金利息	41	32	
合 計	4,887,950	4,753,511	

  

II. 支出の部			単位 円
項 目	予 算	実 績	
総会費	450,000	447,296	
会合費(幹事会等)	50,000	44,568	
事務通信費	100,000	89,175	
同好会補助費	40,000	40,000	
会報発行費	450,000	471,645	
出張費	90,000	90,000	
事務局費	50,000	15,847	
次年度繰越金(普通預金)	3,657,950	3,554,980	
合 計	4,887,950	4,753,511	

## 令和元年度予算(案)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収入の部		支出の部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金(普通預金)	3,554,980	総会費	450,000
年会費	400,000	会合費	50,000
総会参加費	500,000	事務通信費	100,000
普通預金利息	30	同好会補助費	40,000
		会報発行費	450,000
		出張費	90,000
		事務局費	20,000
		次年度繰越金(普通預金)	3,255,010
合 計	4,455,010		4,455,010

# 平成30年度 支部年会費納入者一覧

## (合計 284名)

※平成30年4月から平成31年3月末までに年会費を納入された方の一覧です。

回	年卒	氏名	回	年卒	氏名	回	年卒	氏名
28	昭和15	岩崎光一	45	昭和33	新森信正	49	昭和37	関戸将裕
34	昭和21	織井文貞	45	昭和33	橋浦十八	49	昭和37	林 幸子
37	昭和24	井上三郎	45	昭和33	古谷 隆	49	昭和37	土方久家
37	昭和24	山口輝夫	45	昭和33	水野一彦	49	昭和37	廣江光代
37	昭和24	大和宗雄	46	昭和34	尾嶋司郎	49	昭和37	古谷 孝
37	昭和24	松岡邦衛	46	昭和34	川畑耕祐	49	昭和37	三尾美和子
38	昭和25	深井三郎	46	昭和34	齊藤諒三	49	昭和37	見義治子
39	昭和26	米丸洋子	46	昭和34	西岡碩枝	50	昭和38	秋本紀子
40	昭和28	眞船恒雄	46	昭和34	森 哲朗	50	昭和38	飯田武治
40	昭和28	塚田徹夫	46	昭和34	結城澄子	50	昭和38	川田桂子
41	昭和29	前川 昶	47	昭和35	伊勢谷篤弘	50	昭和38	木原幸弘
41	昭和29	松田利子	47	昭和35	市中滋郎	50	昭和38	定塚紀志子
41	昭和29	上銘外喜夫	47	昭和35	梅原 弘	50	昭和38	高野祐子
42	昭和30	佐藤哲男	47	昭和35	倉石弘一	50	昭和38	野中美代子
42	昭和30	佐藤正美	47	昭和35	小国益男	50	昭和38	福田昌平
42	昭和30	種谷 豊	47	昭和35	関 誠	50	昭和38	前田一郎
43	昭和31	上野謙爾	47	昭和35	古川貞子	50	昭和38	脇谷紀代子
43	昭和31	久郷正孝	47	昭和35	室生知子	51	昭和39	石塚典子
43	昭和31	車田知之	47	昭和35	安川正巳	51	昭和39	加賀美壯一
43	昭和31	古徳 治	47	昭和35	安川椒子	51	昭和39	島田庄蔵
43	昭和31	山岸伸郎	47	昭和35	若林庸夫	51	昭和39	島田輝子
43	昭和31	脇田秀雄	47	昭和35	橋 眞郎	51	昭和39	諏訪庸夫
43	昭和31	森 博	47	昭和35	城宝史郎	51	昭和39	塚越由美
44	昭和32	井沢ノブ	48	昭和36	安宅久弥	51	昭和39	那須邦久
44	昭和32	岩崎 朗	48	昭和36	油木劭之	51	昭和39	古市泰宏
44	昭和32	岡西澄子	48	昭和36	川上 惇	51	昭和39	古市郁子
44	昭和32	紙谷得子	48	昭和36	川上芳子	52	昭和40	小野澤カツ子
44	昭和32	車田千秋	48	昭和36	久保一夫	52	昭和40	是枝 潤
44	昭和32	鈴木芳子	48	昭和36	熊木健治	52	昭和40	中島良信
44	昭和32	高木良造	48	昭和36	定留温子	52	昭和40	星野洋子
44	昭和32	高瀬清孝	48	昭和36	高橋芙美子	53	昭和41	安西慶子
44	昭和32	種井健治	48	昭和36	船場定信	53	昭和41	岩崎孝一
44	昭和32	林 吉孝	48	昭和36	前田伸子	53	昭和41	金子信子
45	昭和33	大郷利治	48	昭和36	吉田誠一郎	53	昭和41	木村信子
45	昭和33	児玉英篤	49	昭和37	小川信吾	53	昭和41	坂本理英子
45	昭和33	佐藤 忠	49	昭和37	川村博子	53	昭和41	林 聰
45	昭和33	佐藤池鶴子	49	昭和37	鈴木国男	53	昭和41	曲淵徹雄

回	年卒	氏名	回	年卒	氏名	回	年卒	氏名
53	昭和41	南 法夫	57	昭和45	中島和彦	63	昭和51	萩野幸司
53	昭和41	村上則彦	57	昭和45	野村真智子	63	昭和51	山下栄子
54	昭和42	市川 隼	57	昭和45	藤村元成	64	昭和52	河村(渡辺)光恵
54	昭和42	市川春子	57	昭和45	松林久一	64	昭和52	坂口一夫
54	昭和42	金森朱美	57	昭和45	奥村淳子	64	昭和52	鈴木利之
54	昭和42	佐藤和恵	57	昭和45	米澤伸子	64	昭和52	真船英一
54	昭和42	庄司孝市	58	昭和46	石井誠司	65	昭和53	井上祐司
54	昭和42	庄司幸子	58	昭和46	石田行知	65	昭和53	大岸洋子
54	昭和42	長谷見蓉子	58	昭和46	上田宗央	65	昭和53	渡辺茂美子
54	昭和42	宮下克彦	58	昭和46	加藤健二	65	昭和53	関口 且
54	昭和42	森川礼子	58	昭和46	千田耕平	65	昭和53	金本郁男
54	昭和42	山口征司	58	昭和46	穂苺 茂	65	昭和53	山田健久
54	昭和42	竹内美千代	58	昭和46	松田閑枝	66	昭和54	鹿田史紀
55	昭和43	阿部 啓	58	昭和46	三石知恵子	66	昭和54	加藤浩嗣
55	昭和43	石橋嘉夫	58	昭和46	村田悦郎	66	昭和54	金原祐吉
55	昭和43	井上みどり	58	昭和46	吉富恭助	66	昭和54	草柳淳子
55	昭和43	梅本美智子	59	昭和47	石田志津子	66	昭和54	鈴木千世
55	昭和43	太田晴美	59	昭和47	井本直樹	66	昭和54	道見茂樹
55	昭和43	鈴木 隆	59	昭和47	駒田由美子	66	昭和54	道見優子
55	昭和43	滝沢春美	59	昭和47	清水善行	66	昭和54	原 信行
55	昭和43	檀原宏文	59	昭和47	信澤澄江	66	昭和54	真船恭子
55	昭和43	牧野由紀子	59	昭和47	松本茂外志	66	昭和54	宮田康子
55	昭和43	松野 萌	59	昭和47	三浦嘉統	68	昭和56	笹又(清水)理央
55	昭和43	南 菖子	59	昭和47	三輪 保	69	昭和57	小林真弓
55	昭和43	井上満子	60	昭和48	大西美知子	69	昭和57	須藤喜子
55	昭和43	奥村啓輔	60	昭和48	加藤マリ子	69	昭和57	塚本尋子
55	昭和43	山口節子	60	昭和48	田中加代子	69	昭和57	野尻幸子
56	昭和44	加藤正子	60	昭和48	末木愛子	69	昭和57	竹内 誠
56	昭和44	金 知出	60	昭和48	千田豊子	70	昭和58	浦本博志
56	昭和44	鈴木英世	60	昭和48	田谷栄子	70	昭和58	遠藤義之
56	昭和44	塚田淳美	60	昭和48	中島徳子	70	昭和58	川口幸美
56	昭和44	深澤 宣	60	昭和48	中西憲幸	70	昭和58	工藤知子
56	昭和44	三石史郎	61	昭和49	梶谷早苗	70	昭和58	茂呂今日子
56	昭和44	山本寿美子	61	昭和49	杉林堅次	70	昭和58	山口貴史
56	昭和44	山岸悦子	61	昭和49	中村直隆	71	昭和59	宇野澤宣司
56	昭和44	山本 恵	62	昭和50	杉山恭子	71	昭和59	大川恵子
56	昭和44	横山司甫	62	昭和50	関 敏美	71	昭和59	黒田豊志
56	昭和44	加藤正子	62	昭和50	西山信右	71	昭和59	近藤高史
57	昭和45	天笠之珠子	62	昭和50	萩野洋子	72	昭和60	根岸邦枝
57	昭和45	伊藤要一	62	昭和50	加藤輝隆	73	昭和61	阿部浩之
57	昭和45	北野栄一	63	昭和51	関 郁代	75	昭和63	伊藤由布子
57	昭和45	佐々木由紀子	63	昭和51	高橋裕子	75	昭和63	鈴木宏和



回	年卒	氏名	回	年卒	氏名	回	年卒	氏名
75	昭和63	池田 靖	83	平成8	渡辺知恵	91	平成16	小倉美世子
76	平成元	朝倉 渡	84	平成9	平岡良隆	93	平成18	齋藤智之
76	平成元	畠山伸二	84	平成9	金子卓嗣	97	平成22	金内優也
76	平成元	小林史明	84	平成9	膝附由香	99	平成24	今井亮太
76	平成元	滝口陽子	84	平成9	木村 徹	101	平成26	佐藤(清水)芳美
77	平成2	紺谷 徹	84	平成9	宅和知文	104	平成29	細井裕也
77	平成2	的場義典	84	平成9	石崎雅之	104	平成29	手賀悠真
77	平成2	山本善一	85	平成10	川邊香代	105	平成30	宮下正也
77	平成2	齋藤みのり	85	平成10	堀口(高瀬)明子	105	平成30	若林ののか
77	平成2	織部幸子	85	平成10	各務直樹	105	平成30	野上暁生
78	平成3	坂東裕志	86	平成11	鵜飼政志	105	平成30	海老原健
79	平成4	樋口実音	86	平成11	鈴木智之	旧職員及び大学院修了生		渡辺和夫
81	平成6	杉山 潔	87	平成12	穴澤和美	旧職員及び大学院修了生		谷村 徳
82	平成7	井上博文	87	平成12	森口秀美	旧職員及び大学院修了生		中込和哉
82	平成7	鏑木淳平	87	平成12	森口博行	旧職員及び大学院修了生		竹口紀晃
83	平成8	東(葛西)美恵	90	平成15	山木(上野)陽子			

### 薬多津三金会 今年の開催日

5月17日(金)、6月21日(金) 総会の前日なので調整中です、7月19日(金)、8月16日(金)、  
9月20日(金)、10月18日(金)、11月15日(金)、12月20日(金)

毎月欠かさず第3金曜日午後6時30分頃から牛タンを食べながら呑んでいます。

多津よし 東京都豊島区東池袋5-9-6

有楽町線「東池袋4番出口」より徒歩3分

電話：03-3985-8776



## — 首都圏支部年会費振込みのお願い —

これまで、支部の資産減少対策として、年会費1,000円以上への変更、利便性を上げるためのコンビニ振込の採用などの策を採ってきました。

いまだに赤字状態は続いているのですが、これらの効果で赤字額が改善しつつあります。この趣旨を汲んでいただき、首都圏支部年会費の振込みをお願いいたします。なお、コンビニ用の振込用紙には振込手数料を含めた金額が印刷してあり、首都圏支部には丁度1,000円が入金されることになります。

また、このコンビニでこの用紙を使用する場合、振込金額の変更はできないため、別途支部活動への寄付金用の振込用紙を同封してあります。

当会は他に収入がなく、皆様一人一人の会費により会を運営しなければならないことを、是非ご理解賜りたいと存じます。

会費を振り込んでいただいた方は、会報「首都圏遠久朶」にお名前を掲載いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

## — 編集後記 —

今年の冬はインフルエンザが大流行し、昨年新しい作用機序のゾフルーザが承認されたこともあり、TV番組でも服用の利便さや耐性の問題等かなり多くの報道がなされました。

そのゾフルーザの作用機序が「キャップ依存性エンドヌクレアーゼ活性阻害」で、40数年ぶりにキャップという言葉を知ったので、その思い出話を一つ。

2年生前期（昭和51年）の一般教養時に薬学部だけ4科目の専門講義があり、その一つが基礎生化学 長谷先生の講義で、半数以上は追試を受けることになるという噂でした。毎回難しい顔でよくわからない話を聞いていましたが（この講義でビタミンではなくバイタミンと発音することを知ったのも思い出の一つ）、ある時長谷先生がニコニコした笑顔でm-RNAの末端のキャップ構造を発見したのが自分の教え子のRocheにいる古市君（51回卒）で、今講演のため帰国しているというお話をされました。講義の記憶はほぼゼロなのですが、何故かこの部分の記憶だけがあり、単位も多分落としました。

ゾフルーザが話題となったので、ネットでいろいろ見ていたら、キャップという単語を見つけ、このことを思い出した次第です。古市先輩からは今回の100字通信をいただいでいて、まだまだ現役で活躍中です。RNA学会のHPにご自身の研究を振り返ったエッセイを連載されていますので興味のある方はご覧ください。

<https://www.rnaj.org/newsletters/item/383-furuichi-1>

ここ数年、富山での本部総会後の卒業謝恩会に支部長他が出席して、首都圏に就職する新卒生に首都圏支部を紹介し、就職後の連絡先を聞き出して連絡しています。その成果が現れたのか、今年の支部総会には新卒者が4名参加、首都圏遠久朶にも5名の方々から寄稿いただきました。今年も支部長・幹事長が謝恩会に出席しましたので、また多くの新卒者が総会へ出席されるものと期待しています。皆様の定期総会へのご出席をよろしくお願ひ致します。

（幹事長 66、S54年卒 道見 茂樹）

## 事務局等連絡先

富山薬窓会首都圏支部事務局

（株）同窓会事務局：info@egaomax.com

富山薬窓会首都圏支部幹事長

道 見：toyamayakugakubu@yahoo.co.jp

## 令和元年度「薬窓会首都圏支部総会」のご案内

日 時：令和元年6月22日（土） 14時00分～18時30分（開場13：30）

場 所：総 会「AP東京八重洲通」13階 B室（14時00分～16時30分）

懇親会「AP東京八重洲通」13階 A室（16時30分～18時30分）

住 所：東京都中央区京橋1-10-7（東京駅八重洲口地下街24番出口）

<https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-yaesu/>

電 話：03-6228-8109

会 費：男性：8,000円、女性：6,000円（ご夫妻で出席の場合 13,000円）

平成17年3月～平成26年3月の卒業生：5,000円（男女とも）

卒業後5年まで（平成27年3月～31年3月）：無料

話題提供 ① 小林 史明氏（第76回卒）

「医師主導治験に関する話題」（株式会社CTD）

② 山路 誠一氏（修士24回）

「生薬学の四方山話」（日本薬科大学）

\* 総会に出席された方には、薬剤師研修シール（1点）をお渡ししますので、希望される方は受付まで申し出てください。

\* 同期の方々をお誘いいただき、多くの方のご参加お待ちしております。





平成30年度薬窓会首都圏支部総会（平成30年6月23日、於 AP東京八重洲通）